2020
10
No. 694

國學院大學學報

「津輕」
秋深く　穂に立ちがたき山の田に、
はたらきびとら
おり行きにけり
（「水の上」）
釈　迢空

国学院大学　令和２年10月20日㈫　定期号（毎月20日発行）１部20円
［発行］国学院大学　［編集］総合企画部広報課　〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目　［電話］03（5466）0130　［FAX］03（5466）0528

祭　儀　■ **創立記念祭**　11月２日（月）　午前10時　神殿　■ **関係物故者慰霊祭**　11月２日（月）　午前11時30分　百周年記念館記念講堂

ゼロから学んでおきたい
日本書紀
――史学、文学から読み解く

令和２（２０２０）年、『日本書紀』が編纂（へんさん）１３００年を迎えた。日本最古の正史（国家による歴史書）で、「第一の古典」として読み継がれてきた『日本書紀』とはどのような書物なのか？　半世紀近くの歳月をかけて、天地開闢（かいびゃく）から持統天皇の治世までを漢文・編年体によって全30巻と系図１巻にまとめた『日本書紀』、「ゼロから学んでおきたい」シリーズとして史学と文学の側面から読み解いてみたい。

編纂が始まった７世紀後半は、国内では壬申（じんしん）の乱（６７２年）の混乱冷めやらぬ時期で、中国や朝鮮半島情勢など東アジア全体が激動の時代を迎えていた。日本と東アジアの古代史が専門の横浜市歴史博物館館長で国学院大学名誉教授の鈴木靖民氏は、編纂を命じた天武天皇の頃から使われ始めたとされる「日本」の国号に注目し、「書名でも『日本』を名乗る必然性があったということ。対外的な意味が編纂の目的に込められており、中国に認めてもらう意識がみえる」とする。

さらに鈴木氏は、近畿を根拠地とした倭（やまと）王権が、「豪族中心の首長国連合から天皇中心の古代国家へと変貌する時期だったことを念頭に、「歴史書の編纂だけが行われていたのではなく、重要な国作りの一環として『日本書紀』が編纂された」と解説する。

一方、文学者の立場から国学院大学研究開発推進機構准教授の渡邉卓氏は、「８世紀の成立から21世紀の現代まで、時代に応じて古代宮廷人から近代の学者まで読み継がれ、書き継がれてきた」とし、『日本書紀』は「第一の古典」として存在し続けたと語る。

また、「万葉仮名で書かれた『歌』を盛り込むなど、日本の文筆文化の基準・規範となった」と広く日本文化の形成に関わったことから、「歴史書であり、宗教書であり、政治書でもある。もちろん上代文学の作品でもあるわけで、多面的な側面を持つ書物として学際的に読むべきだ」と主張する。

【４・５面に関連記事】

後期授業開始
対面授業も一部再開

令和２年度後期の授業が９月21日に始まった。新型コロナウイルスの影響で原則として遠隔授業で実施する一方、実技・実習などの対面授業が必要不可欠と判断される科目、演習など人数調整により安全の確保が見込める科目では、感染防止対策を講じた上で対面授業を再開している。

授業開始に先立ち９月上旬には、教育開発推進機構主催のオンライン授業相談会、体験会が開かれ、専任・兼任の教員が遠隔授業で使うビデオ会議システム「Ｚｏｏｍ（ズーム）」や学修支援システム「Ｋ―ＳＭＡＰＹⅡ」の基本的な機能の紹介を受けたほか、遠隔授業を疑似体験し、前期授業で実際に起きたトラブル事例と解決法から、よりよい授業づくりについて考えた。

（２面に関連記事）

マスクを着用し、相互に距離を取って行われた健康体育学科の「運動方法基礎実習表現系Ⅳ（ダンス）」（担当・町田樹助教、人間開発学部提供）

みはるかすもの

農林水産省が発表した今年のコメの収穫量は９月15日現在、平年を１００とした作況指数が全国で１０１となり、「平年並み」の見通しだ▼コメどころが多い北海道、東北、北陸は軒並み「やや良（１０２～１０５）」。７月の豪雨をはじめ悪天候に悩まされた九州や東海などでは１００を割り込み「やや不良（95～98）」で明暗が分かれた。新型コロナウイルスの影響で外食需要が減少し、コメ余りが進むとの予想もある▼日本人の食卓に欠かせないコメ。最近は、コメを粉にして作られるパンや麺などの加工品が多く出回るようになった。血糖値の上昇が緩やかな低ＧＩ食品として、健康志向が高まる海外でも注目が集まる。国産米と加工品の輸出は、近年右肩上がりだ。コメ余り解消の一手となるか注目したい▼今年のノーベル平和賞に世界各地で食糧支援を行う国連機関、世界食糧計画（ＷＦＰ）が選ばれた。世界で十分な食事を取れず飢餓（きが）に苦しむ人は、約８億２１００万人。世界人口の９人に１人にあたる▼食品ロスの解消も課題で、日本国内で１年間に廃棄される食糧は６００万トンを超え、ＷＦＰが支援する量の１・６倍に上るという。国連が提唱する「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」に掲げられる「飢餓をゼロに」は、足元の課題だ▼10月は、世界の飢餓や栄養不足と解決を考える「世界食料デー」月間。「いただきます」の精神を実践することが、私たちが日々の食卓からできる問題解決の第一歩だ。

主な内容　**２面**／引き続き感染対策の徹底を　**３面**／「指定寄付金」ご芳名、佐藤謙三元学長　少年期の日記を展示
４・５面／ゼロから学んでおきたい「日本書紀」　**６面**／インフォダイジェスト、先輩に聴く
最終面から K:DNA　**Ⅰ面**／硬式野球部　東都大学野球　熱戦続く　**Ⅱ面**／楽しもう国大ライフ！私たちの部会・サークル・研究会

KOKUGAKUIN UNIVERSITY 140th 1882–2022

後期授業開始

引き続き感染対策の徹底を

9月21日に始まった後期授業。一部再開された対面授業を受講する学生の姿がキャンパスに少しずつ戻ってきた。一方で、遠隔授業が大半を占める。キャンパス内では、受講に必要な機器がある教室を一部開放。対面授業と遠隔授業が連続する学生らが、マスクの着用や席の間隔を空けるなどして遠隔授業を受けている＝**写真上**。

対面授業の一部再開に合わせて、渋谷・たまプラーザの両キャンパスでは、学生食堂も一部営業を再開。渋谷キャンパスでは、メモリアルレストランと和［NAGOMI］が2週間ごとに交代で営業し、弁当販売を行っている＝**写真下**。

国内外で新型コロナの感染が続いていることから、保健室は引き続き感染対策の徹底を呼びかけている。対面授業の受講学生には、「対面授業受講上の留意事項」＝**別項**＝を公開。「3密」を避けることやマスクの着用などのほか、検温の継続と所定のチェック表への記録、手指消毒の徹底などを求めている。

対面授業受講上の留意事項

●基本的な留意事項
①継続的に手洗い、咳エチケットの徹底を
②「3密」を避ける取り組みを
③免疫力を高める十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を

●具体的な留意事項（一部）
①毎朝検温をし、発熱や咳などの風邪症状がみられる場合、同居する家族、身近な知人に感染が疑われる場合は登校を控え、授業は欠席を
②『検温等チェック表』への記入を
③『新型コロナウイルス感染症防止チェック表』に必要事項を記入し、担当教員から求められた場合は提出を
④大学構内では必ずマスクの着用を
⑤入退館、入退室時には手指消毒の徹底を
⑥教室では着席不可の席には座らない

学問ノ道　第29回

◉明治天皇の側近・政治家として活躍

国学院中興の祖　佐佐木高行と国学

旧高知藩士で坂本龍馬らと大政奉還を画策し、戊辰戦争に際しては海援隊の残員を率いて長崎奉行所を占領する勲功をあげ、維新以降は明治天皇の側近や政治家として活躍した佐佐木高行は、明治29（1896）年から43年の逝去まで皇典講究所長（のち副総裁）および国学院長を務めた。高行は継嗣の高美とともに経済的に困窮していた国学院の再建を成し遂げた「国学院中興の祖」と称される。

高行の孫・高美の子である行忠も、終戦前後の時期に最後の皇典講究所長や国学院大学初代理事長・学長を務めて、国学院の戦前と戦後を結ぶ役割を果たしており、佐佐木家は3代にわたって本学の維持・発展に尽くした。

出生地の吾川郡瀬戸村（現在の高知市横浜東町）が「土佐南学の祖」である谷時中を奉祀する土地柄ゆえ、佐佐木高行は幼時から儒学や兵学をまなび勤皇精神を培ったと言われる。土佐の国学は、時中の弟子で垂加神道を唱導した山崎闇斎の直門である谷秦山が提唱した、神道を根本とし儒学を羽翼となすべきとする「日本学」を基盤に発展した。かかる学問的土壌のもと、「国学の四大人」に数えられる賀茂真淵や本居宣長の系統に加え、垂加神道の学統にも属した鹿持雅澄は、近世における万葉研究の集大成と評される『万葉集古義』を著したとともに、敬神尊皇に基づいた「君臣の大義」を中枢とする「皇朝学」を唱えて、土佐勤王党の思想的原動力となった。高行も22歳の時に雅澄に師事して国学を修めている。

高知市横浜東町にある
佐佐木高行生誕地の碑

佐佐木高行は日露戦争時に本学で行った講話において、日本の強さの根本要因は神道を根源とする固有古来の「君臣の大義」に基づいた「日本魂」にあるとし、その「精神的教育」の必要を主唱するなど土佐国学に通底する所信を開陳している。現に「我が固有の精神的要素」を涵養する目的から、神職養成事業の拡充や道義・国史・国文を中心に教学の整備充実に取り組んでおり、本学の事業・運営に土佐国学の思想や理念が反映された面が看取できる。こうした本学が「国学の四大人」のみならず諸系にわたる国学の学統をも享受してきた軌跡を顧みることはまた、来るべき創立140、150周年に向けて、本学校史にさらなる広がりと深さを見いだすことにもつながろう。

神道文化学部教授　齊藤智朗

9月卒業 令和2年度は95人

国学院大学の令和2年度9月卒業95人が、9月30日付で確定した。

卒業期は129期で、卒業式典は来年3月21日に行われる予定。所属学部学科別の卒業生数は次の通り。

◎**文学部**＝30人▷哲4人▷史12人▷日本文9人▷中国文2人▷外国語文化3人
◎**経済学部**＝31人▷経済15人▷経済ネットワーキング9人▷経営7人
◎**法学部**＝25人▶法律専攻23人▶法律専門職専攻1人▶政治専攻1人
◎**神道文化学部**＝4人
◎**人間開発学部**＝5人▷初等教育2人▷健康体育2人▷子ども支援1人

教職員人事

［採用］

◎人間開発学部◇助教▷町田樹
◎大学事務局◇専任▷吉橋毅（総務部総務課〔試用期間〕）◇嘱託▷荒井夏樹（学術メディアセンター事務部情報システム課）

以上、令和2年10月1日付

新任教職員紹介

10月1日付で着任した専任教職員のプロフィールを紹介する。丸数字は①略歴②抱負。

人間開発学部

◆助教

町田樹（まちだ・たつき）
①早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程修了、博士（スポーツ科学）。慶応義塾大学・法政大学非常勤講師を経て現職。
②スポーツとアートに関するマネジメント研究が専門です。スポーツと社会の関係性を多角的に探究する学びの時間を通じて、学生の皆さんが実社会で自分らしく活躍できるキャリアを拓いていけるよう、教育・研究活動に最大限力を尽くしてまいる所存です。

大学事務局

◆総務部総務課（試用期間）

吉橋毅（よしはし・つよし）
①国学院大学大学院法務研究科を修了後、法律事務所勤務を経て、現職。
②伝統と歴史ある母校に奉職することができることを、大変光栄に思っております。まだまだ、至らない点が多いため、いち早く仕事を覚え、皆さまのお力になれるよう努めていきたいと思っております。ご指導のほどをよろしくお願いいたします。

訃報 竹内名誉教授

竹内常一名誉教授が9月1日に逝去。85歳。葬儀は9月5日、三鷹市民斎場紫雲閣（東京都三鷹市）で行われた。

竹内氏は昭和10年生まれ。32年東京大学教育学部卒業、35年同大学院人文科学研究科修士課程修了。私立高校非常勤講師を経て33年国学院大学文学部副手。35年同助手、36年同専任講師、42年同助教授、50年同教授、平成13年同教授（特別専任）、17年定年により退職。同年名誉教授。在職中に文学部長、たまプラーザキャンパス長などを歴任した。

専門は教育学。『読むことの教育―高瀬舟、少年の日の思い出』（山吹書店）、『子どもの自分くずしと自分つくり』（東京大学出版会）などの著書がある。

ポッカサッポロ 征矢社長が表敬訪問

ポッカサッポロフード＆ビバレッジ株式会社の征矢真一代表取締役社長が9月16日、佐柳正三理事長、針本正行学長を表敬訪問した。学校法人国学院大学と包括連携協定を結ぶサッポロホールディングス（HD）傘下の同社社長に今年3月就任した征矢氏は、就任の挨拶を行った＝**写真**。

佐柳理事長、針本学長からは、6月にサッポロHDと本法人との包括連携の一環として来日中の交換留学生、寮生活を続ける学生らに飲料やカップスープなどの食品の商品提供を受けたことへの謝辞が述べられ、今後の連携強化に向けた意見交換が行われた。

流派超え、院友3氏共演 国立能楽堂

面や装束を着けず紋付袴姿で演じる企画公演「素の魅力」が9月25日、国立能楽堂（東京都渋谷区）で上演され、能楽界、狂言界を牽引（けんいん）する院友3氏が共演した。人間国宝で狂言大蔵流の山本東次郎氏（昭36卒・69期文）は家伝の稀曲とされる小舞「住吉」を、金春流の櫻間金記氏（昭42卒・75期史）は仕舞「遊行柳（ゆぎょうやなぎ）クセ」をそれぞれ演じ、会場の能楽ファンは熟練の至芸に酔いしれた。人間国宝で喜多流の友枝昭世氏（昭37卒・70期文）は能「忠度（ただのり）」で猛将・歌人として知られ、一之谷の合戦で討ち死にした平忠度の霊と客僧の出会いを情感豊かに演じた＝**写真（国立能楽堂提供）**。

新型コロナウイルスの影響で苦境が続く中、国立能楽堂では販売席数を総席数の50％以内に制限するなどの対策を講じ、7月から公演を再開させている。この日も各流派の第一人者の共演とあって、チケットは完売。11月公演から販売客席数を増やす予定だ。

国立能楽堂の羽鳥道成・営業課課長補佐（平2卒・98期文）は「ある能楽師さんが『戦国時代の武将は、極限状況の中でも能で心を癒やしていた。能を見ることで、人間の内面にある生命力に共鳴して、ヒーリングに繋がります』と語っていました。特殊な状況が続く中、ぜひ能楽堂で心を癒やしてください」と能の魅力を強調する。12月26日には山本東次郎氏が出演する企画公演も予定されている。

「指定寄付金」ご芳名

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性ある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を募っています。

多方面の方々からのご寄付をたまわりました。ここにご芳名を掲載し、重ねて深甚の謝意を表します。

本法人に対する寄付は、専用用紙による申し込みとインターネット上でクレジットカード決済による申し込みが可能です。詳細は**6面**をご参照ください。（総務部総務課）

令和2年度 指定寄付者一覧（敬称略）

自　令和2年　4月　1日
至　令和2年　9月30日

寄付者	寄付目的	寄付金額	寄付月日
松井建設株式会社 取締役社長　松井隆弘	学生・生徒等の活動支援（陸上競技部支援）	1,000,000	令和2年4月27日
戸村　理	学生・生徒等の奨学基金	50,000	令和2年4月30日
市川　博之	学生・生徒等の奨学基金	1,500	令和2年4月30日
		3,000	令和2年4月30日
		3,000	令和2年5月29日
		3,000	令和2年6月30日
		3,000	令和2年7月31日
		3,000	令和2年8月31日
		3,000	令和2年9月30日
堀口　知之	教育・研究振興支援	500	令和2年4月30日
		500	令和2年5月29日
		500	令和2年6月30日
		500	令和2年7月31日
		500	令和2年8月31日
中島　伸明	教育・研究振興支援	2,000	令和2年4月30日
		2,000	令和2年5月29日
		2,000	令和2年6月30日
		2,000	令和2年7月31日
		2,000	令和2年8月31日
		2,000	令和2年9月30日
鎌田　薫	教育・研究振興支援	300,000	令和2年4月30日
金子　良太	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和2年5月15日
松岡　孝	学生・生徒等の奨学基金（国学院大学久我山高等学校支援）	30,000	令和2年5月15日
渡邊　則行	学生・生徒等の奨学基金	100,000	令和2年5月29日
野口　雄五	施設・設備充実支援（博物館支援）	10,000	令和2年6月 3日
国学院大学卓球部OB会 会長　齋藤　成蹊	学生・生徒等の活動支援（卓球部備品購入支援）	200,000	令和2年6月 3日
花山　勝弘	学生・生徒等の活動支援	5,000	令和2年6月 4日
臼杵　千枝子	学生・生徒等の活動支援（硬式野球部東都リーグ、陸上競技部箱根駅伝活躍支援）	150,000	令和2年6月 5日
匿名	学生・生徒等の活動支援（新型コロナウイルス感染症に対する緊急修学支援）	750,000	令和2年6月 9日
匿名	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和2年6月19日
国学院大学院友経済会 会長　大塚　勤	学生・生徒等の活動支援（新型コロナウイルス感染症に対する緊急修学支援）	300,000	令和2年6月25日
益井　邦夫	学生・生徒等の奨学基金	250,000	令和2年6月26日
	教育・研究振興支援（校史研究支援）	250,000	
藤野　正和	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和2年6月30日
下谷神社	学生・生徒等の奨学基金	100,000	令和2年6月30日
木戸　良樹	学生・生徒等の活動支援	10,000	令和2年6月30日
平澤　牧人	学生・生徒等の活動支援	30,000	令和2年6月30日
服部　謙太郎	教育・研究振興支援	5,000	令和2年6月30日
喜多山　健二	学生・生徒等の奨学基金	100,000	令和2年6月30日
福田　光一	学生・生徒等の活動支援（課外活動支援〔スポーツ強化部会など〕）	5,000	令和2年6月30日
丸山　朋廣	学生・生徒等の活動支援（課外活動支援〔スポーツ強化部会など〕）	5,000	令和2年6月30日
榎本　淳一郎	学生・生徒等の活動支援（教育の質向上支援）	50,000	令和2年6月30日
株式会社建設エンジニアリング 代表取締役　宇津橋　喜禎	施設・設備充実支援	30,000	令和2年7月6日
合同会社森春樹事務所 代表社員　森　春樹	学生・生徒等の活動支援	10,000	令和2年7月14日
關橋　淳	学生・生徒等の活動支援（課外活動支援〔スポーツ強化部会など〕）	1,000	令和2年7月15日
		1,000	令和2年7月31日
		1,000	令和2年9月30日
遠藤　博	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和2年7月15日
角田　剛	学生・生徒等の活動支援	2,000	令和2年7月15日
矢島　和	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和2年7月15日
永井　一郎	学生・生徒等の奨学基金	30,000	令和2年7月15日
佐々木　麻帆	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和2年7月15日
田中　充博	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和2年7月15日
小口　直哉	学生・生徒等の奨学基金	5,000	令和2年7月15日
松崎　茂	学生・生徒等の奨学基金	50,000	令和2年7月15日
		50,000	令和2年8月17日
一般財団法人国学院大学院友会 会長　吉田　茂穂	学生・生徒等の活動支援（新型コロナウイルス感染症に対する緊急修学支援）	5,000,000	令和2年7月20日
	学生・生徒等の活動支援（第24回高校生創作コンテスト）	100,000	
	学生・生徒等の活動支援（第16回地域の伝承文化に学ぶコンテスト）	100,000	
匿名（86期法）	学生・生徒等の奨学基金	50,000	令和2年7月21日
国学院大学院友会 石川県支部有志一同 支部長　河崎　正幸	学生・生徒等の活動支援（コロナ禍　経済支援）	100,000	令和2年8月12日
戸川　信義	学生・生徒等の活動支援（課外活動支援〔スポーツ強化部会など〕）	100,000	令和2年8月17日
株式会社アルク 代表取締役　實川　利光	学生・生徒等の奨学基金	60,000	令和2年8月20日
国学院大学院友会徳島県支部 支部長　大岡　慶久	学生・生徒等の奨学基金	20,000	令和2年9月 8日
匿名	教育・研究振興支援	1,000,000	令和2年9月10日

（単位：円）

佐藤謙三元学長 少年期の日記を展示
横浜開港資料館で

昭和45年から50年まで国学院大学学長を務めた、佐藤謙三博士（1910～75年）が関東大震災直後に書いた日記や写真を紹介した展示が、横浜開港資料館（横浜市中区）で行われている。

展示されているのは、保土ケ谷町（現横浜市保土ケ谷区）出身で震災当時12歳だった佐藤博士が記した日記のうち、関東大震災に関わる記述のある4冊など。震災直後には「古今未曾の大地震があった。一日早々、えんぎわるい」「世の中も一変する事だろう。記念すべし、永久に、大正十二年九月一日を！！（原文のまま引用）」と書き残している佐藤少年。発災から1年後には、慰霊行事の様子を振り返り、発生時刻に「裏の方では、バタバタ家の中を掃除して居た」と人々の受け止めが多様であったことがうかがえる記述も見られる。

担当した吉田律人調査研究員（平27修・123期博後史、**写真**）は「震災発生直後からの心情の変化や記憶の変容が日記には残されている。災害を考える手掛かりとなる」と日記の持つ歴史的意義を語る。展示は12月3日まで。

ゼロから学んでおきたい

日本書紀

―史学、文学から読み解く

東アジア関係史

●＝日本 ●＝中国 ●＝朝鮮

- 倭の五王（5世紀初頭～6世紀初頭）
- 五胡十六国時代（304～439）
- 南北朝時代（439～589）
- 三国時代（紀元前1世紀～7世紀）
- 半島南部にあった伽耶諸国、百済と新羅に吸収される（6世紀中葉）
- 589 隋が中国統一
- 600 遣隋使（～618）
- 618 隋が滅び、唐（～907）建国
- 624 朝鮮三国、唐の冊封を受ける
- 630 遣唐使（～894）
- 645 乙巳の変
- 646 改新の詔
- 660 百済が滅亡
- 663 白村江の戦い
- 668 天智天皇即位（～672）
- 668 高句麗が滅亡
- 672 壬申の乱、天武天皇即位（～686）
- 676 新羅、唐の勢力を駆逐し半島統一（～935）
- 690 持統天皇即位（～697）、藤原京遷都
- 698 武則天、唐を奪って周を建国（～705）
- 710 東北部に渤海（～926）建国
- 712 平城京遷都
- 712 古事記完成
- 720 玄宗即位し唐の最盛期を現出（開元の治）
- 720 日本書紀完成

史学 横浜市歴史博物館館長、国学院大学名誉教授 鈴木靖民氏

なぜ『日本書紀』は日本を名乗るのか

―倭王権と東アジア

日本古代史と東アジア関係史を専門とする横浜市歴史博物館館長で国学院大学名誉教授の鈴木靖民氏は、「7世紀後半における（倭国内の）政変・外征・内乱は、親百済から一時的な親唐へ、そして親新羅へという外交政策の変化を引き起こし、それが国制や文化の受容・発展に敏感に反映して時代ごとに特色ある国家形成の諸局面を現出した」との論を展開する。

当時の倭国ではこの時期の前段階として中大兄皇子（後の天智天皇）らが蘇我氏を滅ぼした乙巳（いっし）の変（645年）と、天智天皇の弟である大海人皇子（後の天武天皇）が甥の大友皇子（後に弘文天皇）を打ち破った壬申（じんしん）の乱（672年）という2度の政変が発生し、それと並行して数度にわたって朝鮮半島への外征を試みている。

倭国が2つの政変によって揺らいでいた時期、朝鮮半島でも、660年に百済が、668年に高句麗が、それぞれ新羅と唐の連合軍によって攻め滅ぼされるという大きな動きがあった。その後、半島統一を目指す新羅と半島に勢力を伸ばしたい唐との間に軋轢（あつれき）が生じ、唐の干渉は676年まで続いた。このような乱世にあって、天武天皇は新羅とは通交するものの遣唐使は中断したままとし、この外交方針は次代の持統天皇にも継承された。

「天武天皇が編纂を命じたのは、壬申の乱に勝って国家の枠組みを整えつつあった時期。7世紀末から8世紀初には、集中的に東アジア全体で動きがあった。『日本書紀』という単なる歴史書の編纂だけが進んだわけではない。重要な国作りの一環として歴史書が重視されてきたといえる」と鈴木氏は解説。地域ごとの首長国を束ねるだけだった倭王権が、周辺の東アジア諸国と影響しあう中で古代国家へと成長する過程こそが『日本書紀』編纂の時代背景だったのだ。

倭国が唐・新羅連合軍と戦った白村江（すのえ）の戦い（663年）以来途絶えていた中国への使節派遣は、天武天皇と持統天皇の孫に当たる文武天皇の治世で大宝2（702）年に復活された。当時は2代皇帝・高宗の皇后だった武則天が唐に替わって周を建てた時期だが、粟田真人らの使節団には国交回復とともに「天皇」号と「日本」の国号を採用したことなどを中国側に伝える大切な役割があった。「大王」から「天皇」へ、「倭」から「日本」へ、天武天皇による中央集権化はそれまでの呼称を次々と改めて古代国家へと脱皮したことを周辺国家に知らしめるアピールにまでなった。その一つが『日本書紀』だといえる。

鈴木氏は「書名として『日本』を名乗る必然性があったということ。『日本』と名乗るということで日本の歴史、日本の文化を強烈に意識した」とする。そして、その先にある「唐」の存在を意識しつつ「国号の『日本』は『日の本』という意味。中国に認めさせたいという強烈な思いではないか」と結ぶ。

天武天皇が即位した飛鳥浄御原宮（奈良県明日香村）。『日本書紀』『古事記』の編纂はここから始まった（産経新聞提供）

日本初の正史＝国家による歴史書として『日本書紀』が編纂されたのは今から1300年前の養老4（720）年。7世紀末から8世紀初頭にかけては中国・朝鮮など東アジアの混乱期であった。律令制による古代国家として生まれ変わろうとする倭王権が、「日本」の国号とともに対外的なアピールの手段として編んだ書物について、編纂の背景を史学の視点から、編纂後にどのように読まれてきたかを文学の視点から、それぞれみていきたい。

文学 国学院大学研究開発推進機構准教授 渡邉卓氏

学際的に読みたい「第一の古典」

古さでは和銅5（712）年に作られた『古事記』が一番だが、養老4（720）年成立の『日本書紀』は現在まで読まれ続けている。成立直後に『日本書紀』を読む講筵（こうえん）（※）が行われた時期には宮廷人が、中世には神道家が、近世には国学者が、そして近代になると国文学者や歴史学者が時代に応じた「第一の古典」として読み継いできた。近世後期にやっと研究が始まった『古事記』とは歴史の積み重ねが違う。

講筵では、漢文体で書かれた文章を和語に置き換えて読み、宮廷人が必要とする教養を身につけたと考えられる。翻って今の時代、『日本書紀』は文学や歴史学といったジャンルにこだわらず、学際的に読むべきだろう。

『日本書紀』には本文とは別に万葉仮名で書かれた歌が入っている。漢詩ではなく歌であることは、日本の歴史をまとめるにも歌の存在が大きかったということだ。わが国最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』の仮名序にも「日本の歌の根源はスサノオが詠んだ『日本書紀』の歌」とあり、『日本書紀』が基準・規範となって日本の文筆文化を形作ってきたことを物語っている。

中世になると人々が神仏を必要とし、『日本書紀』も「神代（じんだい）」の巻一、巻二を中心に読まれ、「神書」として卜部家などの神道家が学ぶようになる。神道家が『日本書紀』を書き写したことによって多くの写本が残されることとなった。

印刷技術が輸入され、慶長4（1599）年、後陽成天皇の命令で「慶長勅版本」が刊行されるという重大な動きがあった。江戸期にはこれを基として『日本書紀』の出版が重ねられる。これによって『日本書紀』は多くの人々に読まれることとなった。

江戸中期以降、契沖（けいちゅう）、荷田春満（かだのあずままろ）、賀茂真淵、本居宣長らの国学者が相次いで探究することとなる。近代になると、国学院大学の母体である皇典講究所のカリキュラムにも『日本書紀』の科目が入り、国文学者の折口信夫と武田祐吉らが研究している。

『日本書紀』にあまり注目が集まらなくなった理由は「第一の古典」が『古事記』に取って代わられたことと、全30巻もあるうえに内容も難解という点だろう。解決策として切り口を変えて読むことも必要で、歴史書ではあるが文学書、神道書、政治書など多面的に捉えてみることを提案したい。

『日本書紀』に由来する地名が各地に残されているので、身近な場面から読んでも面白いと思う。（談）

※講筵　講義が開かれる場所やその講義を指す言葉。『日本書紀』に関しては、編纂直後から計7回の「日本紀講筵」が宮中で開かれた。2回目の弘仁3（812）年以降はおよそ30年おきに公卿や官人らの勉強会として開かれたとされる

100年前、国学院で展示

大正9（1920）年、『日本書紀』編纂1200年の展示会が飯田橋時代の国学院大学で挙行された。詳細は図録に残され、貴重な資料が出品されたことが分かる。

本学研究開発推進機構の渡邉卓准教授によると、「当時そろえられる貴重な資料を集めての展示会」だが、資料の中には現在は所在不明の本もあるという。渡邉准教授は「出品された諸本のなかでも希有なものとして、昭和前期に台北帝国大学所蔵となり、現在は台湾大学が所蔵する円威本などが挙げられる」とする。書き継ぐことで『日本書紀』が歴史を伝えてきたのと同様に、展示会の図録に残されたことで歴史として受け継がれたともいえる。

本学博物館で秋に予定されていた編纂1300年記念の展示会は来年に延期されたが、「大学の歴史とも関わる『日本書紀』の展示は、ぜひとも開催したい」と渡邉准教授は力を込めている。

「ゼロから学んでおきたい『日本書紀』」（拡大版）は、大学ＨＰ内「国学院大学メディア」に掲載。

インフォダイジェスト

…在学生　…保護者　…卒業生　…一般　…受験生
内内容　日日にち　時時間　場場所　対対象　申申し込み　料料金　問問い合わせ

大学からのお知らせ

「指定寄付金」ご協力のお願い

内学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性のある教育研究体制を確立するため、広く寄付を募っています。寄付の種類は、「学生・生徒等の奨学基金」「学生・生徒等の活動支援」「教育・研究振興支援」「施設・設備充実支援」の４つに加え、学生の課外活動を支援するための「課外活動支援（スポーツ強化部会など）」や「メッセージ募金」を設けています。

「メッセージ募金」は、ＨＰ上からメッセージを直接投稿してもらう仕組み。ワンコイン（500円）から寄付が可能です。

申専用用紙またはインターネットでのクレジットカード決済（VISA、MasterCardの２種類）が可能です。

問総務課（☎03・5466・0111）

※本法人への指定寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。寄付に関する情報は専用ＨＰ（http://kifu.kokugakuin.ac.jp/）で閲覧できます。

休講と学年暦の変更について

内詳細は次の通りです。

▶全日休講＝10月31日㈯、11月２日㈪
▶１～５限休講（６・７限は通常授業を実施、１～５限は補講時限）＝12月25日㈮
▶６、７限休講（１～５限は通常授業を実施）＝１月15日㈮
▶後期期間内試験（１月25日㈪～30日㈯）を中止
▶補講日の追加＝１月25日㈪～30日㈯

問教務課（☎03・5466・0135）

令和２年度学費等納付金について

内令和２年度学費等納付金（後期）口座振替日は、11月20日です。詳細は、10月15日に発送した「学費等納付金納入のお願い」や大学ＨＰをご確認ください。

問経理課、学生生活課、たまプラーザ事務課、大学院事務課

遠隔個別相談会の実施について

内若木育成会では、会員（保護者）を対象にした授業・成績、就職・進路に関する各担当者との個別面談をオンラインで実施します。相談時間は15分で、予約方法など詳細は、10月上旬に郵送でお送りした案内書に記載。予約の申し込みおよび相談前に視聴する動画は下記ＨＰ（https://www.kokugakuin.ac.jp/student/ikuseikai/p9）で確認してください。

日・時10月24日㈯～11月８日㈰の土、日曜日の10時～13時、14時～18時

※予約は希望日の３日前までにお願いします

問校友課（☎03・5466・0131）

博物館

料無料

時原則、木・金・土曜日の12時～16時（最終入館15時30分）。11月５日以降は、水・木・金・土曜日の12時～17時（最終入館16時30分）、短縮開館

企画展「楽石雑筆―神道考古学の祖 大場磐雄の記憶と記録―」

内大場磐雄は、「神道考古学」を提唱したことで知られる考古学者です。少年の頃から収集してきたさまざまな資料を、体系的に保管し、一大アーカイブを構築。大正７年から晩年までの日記である『楽石雑筆』をはじめ、実際の考古遺物、図面、写真、草稿類などを展示します。

日11月５日㈭～12月26日㈯

場企画展示室

※博物館関連イベントの問い合わせは☎03・5466・0359

キャリアサポート

第２回 Web合同企業説明会

内秋採用を行う準大手企業・優良中小企業を招いて開催するWeb合同企業説明会です。国学院大学の学生を採用する意欲のある企業の人事担当者から詳しい説明を聞き、本当に自分に合った企業をこの機会にぜひ見つけましょう！

日・時11月６日㈮午後

対４年生

企業セミナー

内キャリアサポート課の目玉企画です。説明会の予約を取るのも難しい超有名・優良企業の採用担当者が国学院大学の学生のためだけに企業説明を行います。秋に企業の話が聞けるこの機会は大変貴重です。優良企業に内定した４年生の多くは、低学年のうちから本セミナーに参加しています。３年生だけでなく１・２年生の皆さんも積極的に参加しましょう。

※すべてライブ配信。アーカイブ配信はありません

日～11月27日㈮

時㈬を除く平日：15時20分～17時
㈬：13時25分～15時５分、15時20分～17時

※企業は40分の説明を２回実施。どちらかに参加してください

対１～３年生

※詳細確認・申し込みはK-SMAPY IIより行って下さい

新型コロナ関連のお知らせ

感染が疑われたら保健室に連絡を

新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑いがあると言われた方は、必ず保健室にメールか電話で連絡をしてください。

問保健室アドレス
✉hoken@kokugakuin.ac.jp
☎03・5466・0148（渋谷）
☎045・904・7721（たまプラーザ）

新型コロナウイルス給付金便乗の不正受給勧誘に注意

内新型コロナウイルス感染拡大で経済的な打撃を受けた個人事業主らを支援する政府の持続化給付金の不正受給が問題化しており、インターネット上などで大学生を狙った不審な勧誘が多発しています。受給資格のない学生に「給付金の申請を代行する」など、詐欺的な手口を指南する投稿が多数確認されたほか、ツイッターやLINEなど、SNSを通じ友人から勧誘される事例もあります。不正受給は犯罪です。日ごろから十分な注意を払ってください。

国民生活センターからは以下の注意喚起が発信されています。

・持続化給付金の受給資格がない人に不正受給を持ち掛ける誘いには絶対に乗らない。
・友人や知人、SNSなどを通じて誘いを受けてもきっぱりと断る。
・不審に思ったり、トラブルに遭った場合は、学生生活課や最寄りの消費生活センターなどの相談窓口に連絡する。

問▶学生生活課
✉gakusei_s@kokugakuin.ac.jp
▶消費者ホットライン
☎188（最寄りの消費生活センターなどを案内する全国共通の３桁の電話番号）

先輩に聴く

地方ラジオ局を新しいメディアに

茨城放送代表取締役社長　阿部重典さん（昭61卒・94期経）

県域ラジオの茨城放送でアナウンサーとして活躍し、今年、同社初の生え抜き社長として舵取りを担うことになった阿部重典さん（昭61卒・94期経）に、「コロナ禍」に直面しながらも多様なニーズに応えるため「リボーン（再生）」を掲げて新たな一歩を踏み出した心境を聞いた。

茨城県出身で筆頭株主となった現オーナーの「生え抜きを社長に」との意向を受けて就任し、新しいメディアへの「リボーン」に取り組んでいる。新型コロナウイルスで厳しい状況だが、「新しいメディアカンパニーを作ろう」という旗印を社内で共有し、番組編成から職場環境まで改革は多岐にわたる。

「ダイバーシティ＝多様性」を目指し、具体策として「ニッチトップ」と「ローカルメジャー」を掲げる。スマホやパソコンで聴ける「radiko」などインターネットを通じて地方の放送をどこででも楽しめる環境も整いつつあり、限られたニッチなニーズに応える番組や、方言を多用したローカル色豊かな番組を県外に向けても発信していく。また、災害時にリスナー発の情報を受け止められるようHP改修も進めている。

現在もアナウンサーとして現場に立ち、今夏は茨城県独自の高校野球大会で準々決勝の中継も担当した。

話すこと全般が好きでテレビやラジオへの憧れもあった。「一度は東京に出たい」と選んだ国学院大学ではアナウンス研究会に参加。福島県出身のため「なまっている」といじられたが、標準語を話す同級生を練習台にして必死になって覚えた。

大学での４年間が非常に充実したものだったからこそアナウンサーになれたと確信している。４年間いろんなことを感じて社会に出るのと、ただ大学に通って卒業証書一枚もらって社会に出るのとでは全然違う。今の学生にはもっとガツガツしてもらいたい。

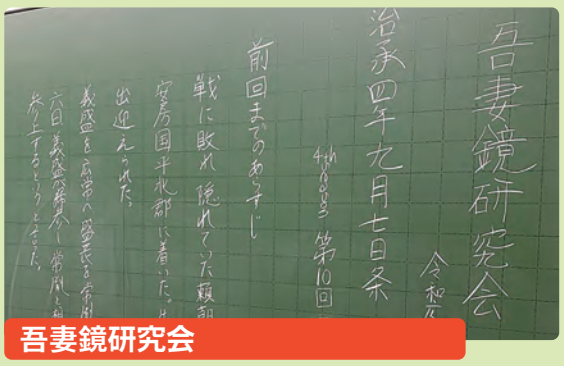
あべ・しげのり

国学院大学経済学部経済学科を卒業後、昭和61年㈱茨城放送にアナウンサーとして入社。編成局放送センター長、総務局長、取締役編成局長兼総務局長を経て令和２年６月から現職。在学中はアナウンス研究会に所属。

▶i-fm茨城放送ＨＰ　https://www.ibs-radio.com/
茨城放送は、FM水戸局94.6MHz、日立・守谷局88.1MHz、AM水戸局1197kHz、土浦・県西1458kHz。

インタビューの詳細は、大学HP「国学院大学メディア」で公開中

楽しむ国大ライフ！ 私たちの部会・サークル・研究会



吾妻鏡研究会

吾妻鏡研究会では、鎌倉時代の歴史的事象を叙述した史料『吾妻鏡』を用いて中世史料に使用されている和様漢文（通称:吾妻鏡体）に慣れることを目標としています。普段の活動としては、原文を輪読した後に現代語訳をしています。途中に会員同士で雑談をすることも多々あり、和気藹々（わきあいあい）としたサークルです。また、例年春には吾妻鏡関連史跡への遠足をしています。

ココが自慢　クセのある史料読みに慣れていけます。中世史を学びたい人にとって、和様漢文を読む練習の場になります。

[構成] ２年６人、３年３人、４年10人
[活動場所]【渋谷】教室
[Twitter] ＠Azumakagami131

カジュアルゲーム同好会へうゲ

私たちはボードゲームのサークルです。毎週水曜日と土曜日に集まって、サークル所有のゲームや各サークル員所有のゲームを持ち寄ってゆるく遊んでいます。夏にはゲームマーケットに遠征して新しいゲームを探したり、合宿を行ったりします。特に必要な技能も経験も道具も一切ないので、誰でも大歓迎です！

ココが自慢　兼部OK！　活動率も問いません。どなたでも気軽に遊びに来てください！

[構成] ２年３人、３年３人、４年６人
[活動場所] 活動日ごとに告知
[Twitter] ＠k_hyouge

神社信興研究会

名前の通り神社の研究を行い、まさに興していくサークルです。神社の信仰を高めるためには、神社は何をすべきかを日々考え活動しています。神社の経営・管理・教化・地域振興・歴史認識などを総合的に研究し、活用していく生きた研究を目指しています。基本的な活動はディスカッション形式で行い、その他フィールドワークとして神社の見学や現職神職さんとの講話会などをし、その考察が実現可能なことであるのかを検証いたします。

ココが自慢　数あるサークルの中で神社を研究する唯一のサークルです。

[構成] ２年５人、３年９人、４年11人
[活動場所]【渋谷】教室
[Twitter] @shinkouken_

オンラインで新入生勧誘

新型コロナウイルスの影響で、４月に実施できなかった部会サークルの新入生勧誘活動がオンラインで９月18日から複数日に分けて行われた。体育連合会、文化団体連合会、同好会連合会、一般サークルに分かれて各部会がビデオ会議システム「Zoom（ズーム）」を通じて渋谷キャンパスからライブ配信で活動紹介を実施。写真や動画を駆使し、チャットを使って質問に応じるなど画面の向こうの１年生にアピールした。

団体・個人の成績

陸上競技部＝第89回日本学生陸上競技対校選手権大会が９月11～13日、デンカビッグスワンスタジアム（新潟市中央区）で行われた。男子１万ｍでは、藤木宏太選手（神文３）が28分55秒70で６位（日本人３位）入賞を果たした。男子5000ｍでは、中西大翔選手（健体２）が13分54秒88で９位、臼井健太選手（健体４）が13分55秒52で10位と続いた。男子800ｍ予選では、堺谷龍太選手（日文３）が１分54秒48で予選敗退だった。

蹴球部＝第９回関東大学サッカートーナメント（アミノバイタルカップ2020）１回戦の国学院大学対慶応義塾大学が９月27日に行われ、０－２で敗れた。

東京都大学サッカーリーグ戦１部が９月６日に開幕。同部は第６節を終えた10月４日時点で６勝０敗、勝ち点18で山梨学院大学に次ぐ２位につけている。

第６節の帝京大学戦では、19分にＦＷ熊田柊人選手（神文２）が先制ゴールを挙げ、前半を折り返すと、ＦＷ麻生竜ノ介選手（初教２）が後半15分、45分に連続ゴールを挙げリードを広げた。47分には途中出場のＦＷ秋元悠真選手（経ネ３）が追加点を挙げ、４－１で勝利。開幕からの連勝を６とした。

弁論部

私たちは「言葉を探求する」サークルです。130年の歴史と伝統を持ちますが、やっていることはとってもシンプル。考え方、まとめ方、伝え方を研究し、スピーチやプレゼンに必要なスキルを身に着けたり、弁論大会でその能力を競ったりします。普段の活動では、社会のことや身の回りのことについて意見を出し合って見識を深めたり、特定の問題について施策を検討したり、お菓子を食べたりしています。

ココが自慢　大学間の垣根が非常に低く、横の繋がりが強い「弁論界」では、他大学の人と交流することができます。

[構成] ２年１人、３年４人、４年３人
[活動場所]【渋谷】若木会館部室、教室など
[ＨＰ] kbc.yokochou.com

万葉エコbeeプロジェクト

万葉エコbeeプロジェクトでは、主にミツバチのお世話をしています。部員は20人ほどで、毎週土曜の午後に活動しています。私たちはミツバチの飼育のほかに、ミツバチを通して自然の大切さを伝える活動を行っており、春には地域の親子に向けてミツバチの観察・採蜜イベントを開き、秋には共育フェスティバルに参加しています。採れたはちみつを使って、レモネードスタンドという、小児がんの子どもたちのための募金活動も行っています。

ココが自慢　ミツバチはとてもかわいくて生き物好きにはたまりません。イベントで子どもと関わる機会も多いのが魅力です。

[構成] ２年３人、３年７人、４年５人
[活動場所]【たま】５号館４階予備室４－１
[Twitter] @manyoecobee　**[Instagram]** ＠ecobeepj
[HP] https://www.manyo-ecobee.jp

Music Caravan

Music Caravanは主に地域の方々に向けた公演活動を行っています。昨年度は大学近隣の老人ホームで３回、保育園で２回訪問演奏を行いました。10月末に行われた共育フェスティバルでは地域のお子さんと一緒に手作り楽器を作り、音楽劇を披露しました。その他にオープンキャンパスや卒業祝賀会など学内のイベントで演奏することもあります。音楽が大好きなメンバーが「自分にできること」を持ち寄って和気藹々と楽しく活動しています♪

ココが自慢　選曲から演出まで自分たちの手でステージを作れること、楽器ができなくても音楽が好きなら楽しめること！

[構成] ２年６人、３年２人、４年16人
[活動場所]【たま】５号館
[Twitter] @Music_Caravan12
[Instagram] @music_caravan12

若木幻想郷倶楽部

年２回行われる東方projectのイベント、文化祭に参加し、会誌を頒布しています。また、合宿では諏訪に行き、諏訪大社にて正式参拝を行ったり、東方projectを通して神道や伝統に触れたりしています。

普段の活動は会誌の制作を行ったり、原作や二次創作をそれぞれたしなんだりしています。

ココが自慢　他大学には少ない公認の東方サークルです。イラスト、文章などのエキスパート、同人イベント経験者がいます。

[構成] ２年５人、３年５人、４年10人
[活動場所]【渋谷】若木会館共用施設、教室
[Twitter] @kokugakuintoho

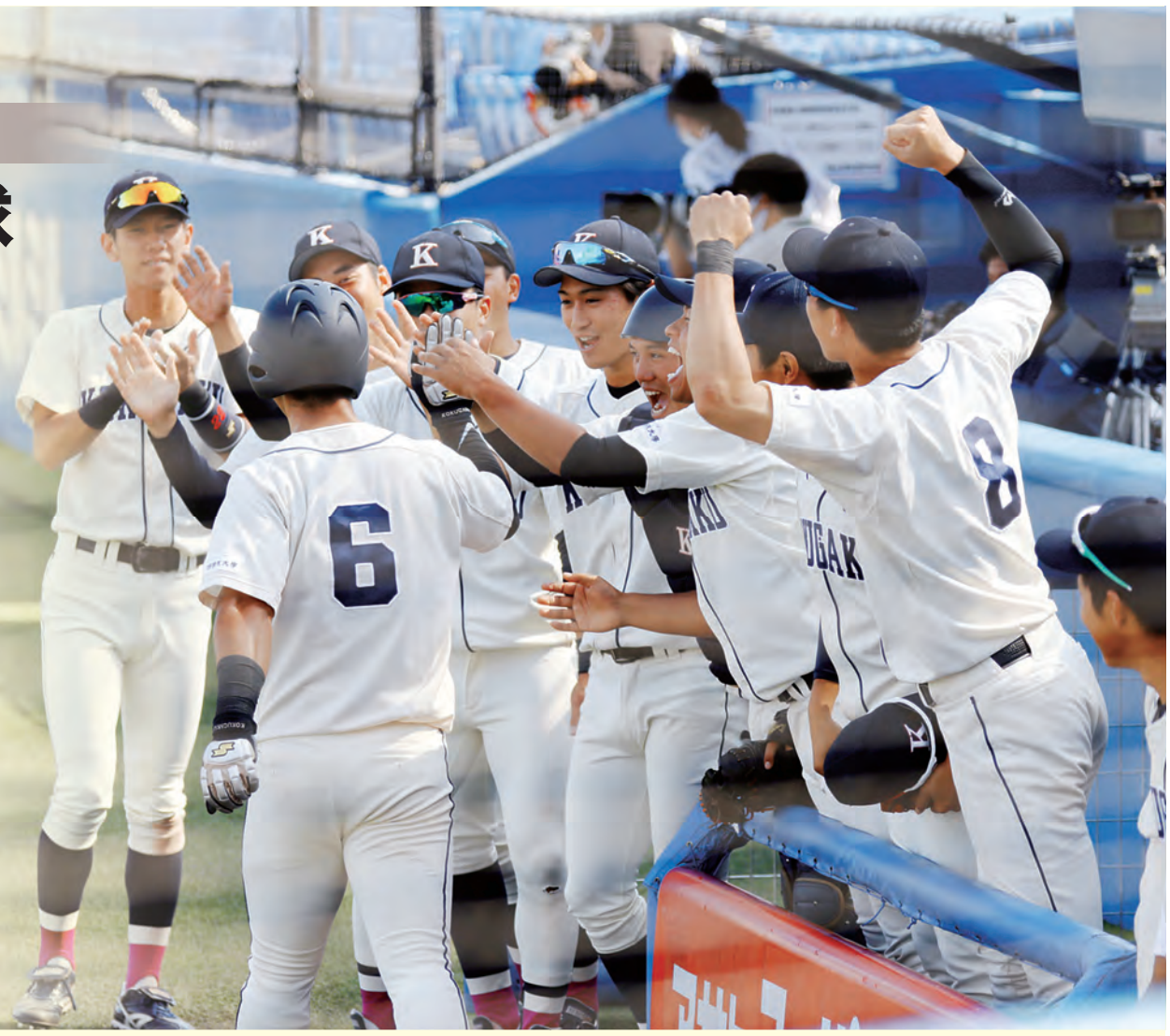
K:DNA

2020 10

K:DNA——創立138年目を迎えた国学院大学の遺伝子…個人・個性を尊重する校風　若いエネルギーが未来を変える

硬式野球部

東都大学野球熱戦続く



東都大学野球秋季１部リーグが９月22日、神宮球場で開幕。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で春季リーグは中止となり、秋季リーグは従来の勝ち点制ではなく、２戦総当たりで、勝利数の多いチームが優勝となる。試合が行われている神宮球場では、感染対策の一環として収容人数を3000人までとしている。

平成22年秋以来の優勝を目指す国学院大学硬式野球部は、開幕戦となった駒沢大学との１回戦に逆転勝ち（４－３）で好スタートを切ると、第２週の東洋大学戦も１回戦で上出拓真投手（健体４）が自身初の完封勝利を挙げるなど白星を重ねた。

降雨のため延期され10月２日に行われた駒沢大学との２回戦では、先制を許した直後の三回裏、１死満塁から４番・瀬戸成一郎選手（日文３）の２点適時二塁打で逆転。続く５番・中山遥斗選手（健体４）も２点適時二塁打で続くなど一挙６点を挙げた。

救援陣が捕まり５点差を追いつかれた直後の八回裏、２死一・二塁から、３番・川村啓真選手（経３）が右翼スタンドに決勝の３ランを放ち試合を決めた（９－６）。第３週の亜細亜大学戦は、投打ともに振るわず連敗したが、10月７日現在４勝２敗で３位につける。27日から始まる残り２カードは、逆転優勝に向け負けられない戦いが続く。

好救援で3勝を挙げている諸見里俊投手（経4）

決勝3ランを放つ川村啓真選手（駒沢大2回戦）

未来につなぐ 学術資産研究ノート

子孫の夢に現れた姿を描く

「従二位兼見卿霊夢之像」写真

この写真は、明智光秀と懇意であったことでも知られる吉田兼見（1535-1610）の肖像である。兼見は、神道と典籍を伝えた吉田家の当主で、室町時代後期に吉田兼倶によって大成された吉田神道の後継者であった。父は兼倶の孫の吉田兼右である。

国学院大学でも教鞭をとった神道史学者・宮地直一の教え子であった西田長男（昭10卒・43期道）は、昭和14年３月30日、当時、京都の吉田家の文庫にあった吉田家代々の肖像画を撮影させた。本資料は本学が所蔵する宮地直一の旧蔵資料に含まれていた写真であり、この時に撮影されたものであろう。なお、西田は戦後、本学教授となっている。

西田長男は、「従二位兼見卿霊夢之像」の裏には、その由来を記した紙がはられていたとし、ここから、兼見の子孫の兼雄（1705-87）の夢に現れた姿を描いたものであること、右手に持っているのは、岐神と呼ばれる、吉田神道の行事で用いる道具であることなどがわかるとする。

吉田家が所蔵していた代々の肖像画のうち数点は、現在、本学図書館の所蔵となっているが、兼倶・兼右・兼見の肖像画の所在は知らない。しかし、宮地直一の手元に保管されていた写真によって、その様子を知ることができる。また、現存する本肖像画の写真も多くないと思われる。

大東敬明（研究開発推進機構准教授）

国学院大学図書館所蔵